

緊急 Zoom セミナー Part 3

いのちを語る

「死」へと追い詰められる当事者たち

終わりの見えないコロナ禍のなか、「いのち」をめぐるさまざまな問題や歪みがあぶり出されてきました。

8月に行われた緊急 Zoom セミナーの第1回で取り上げた京都 ALS 患者囑託殺人事件や人工呼吸器のトリアージの問題もその一つです。第2回（10月）では、安楽死や尊厳死についての言説のあり方やいのちの教育へと話が広がりました。続く今回（第3回）は、介護や介護者の問題にも焦点を当て、生と死をめぐる問題において、さまざまな当事者たち（患者本人・家族・医療者など）が「死を選ぶこと／死なせること」を肯定せざるを得ないところへと追い込まれていく現状について、考えていきたいと思えます。

ゲスト講師として、『アシュリー事件』『死の自己決定権のゆくえ』『殺す親 殺させられる親』などの著書によって、重症心身障害のある子の母親の立場から生命倫理をめぐる問題を問い続けるとともに、ケアラーを支援する活動に取り組んで来られた児玉真美さん（日本ケアラー連盟代表理事）をお迎えします。そして、前回前々回に続き、さまざまな生命倫理問題における「当事者」の複雑な絡み合いを考察してこられた安藤泰至さん（鳥取大学医学部准教授）、宗教学や死生学の観点から「いのち」を作ってもよいかを論じてこられた島菌進さん（上智大学特任教授、東京大学名誉教授）にも問題提起をいただきます。

多くの方に聴講いただき、いま「いのち」について問い、語ることの意味について、ともに考えていければ幸いです。

記

日時 : 2020年12月20日(日) 14時~16時30分 Zoom 受付は13時30分より開始

テーマ: 「死」へと追い詰められる当事者たち

講師 : 安藤泰至さん 鳥取大学医学部准教授
児玉真美さん ライター・日本ケアラー連盟代表理事
島菌進さん 上智大学特任教授・東京大学名誉教授

進行 : 約80分間 各講師の方から問題提起
10分間 休憩
約60分間 参加者からの質疑、意見交換

参加費: 無料。ご寄付をお願いします

寄付口座 横浜銀行鶴見支店 店番号 361 普通口座 1550312 神野玲子
・参加は事前予約とします。(予約受付は、即日から12月16日まで)
予約方法: 予約は名前(ふりがな必須)、連絡先(E-mail 必須)、職種・団体(任意)
を明記の上、下記 E-mail 先へ申し込みください

*連絡先の E-mail アドレスを誤ると参加案内が送れませんので注意を!

E-mail : jreikochan@yahoo.co.jp 神野玲子

案内送付: 予約された方には 12月17日頃、案内および Zoom の URL を電子メールにてお送りします。



↑
こちらからもお申し込みできます

問い合わせ先: E-mail : jreikochan@yahoo.co.jp または 携帯電話 : 090-2669-0413 神野玲子
主催 : ゲノム問題検討会議 (ホームページ <https://genome714.com/>)